

# 未来の夢計画

## 移行準備のヒント



2012-13年度、地区は、財団の新しい補助金モデルの導入に備えて、移行準備を始める必要があります。準備を行う際は、以下の点をご確認ください。

- [グローバル補助金](#)の利点を強調する。グローバル補助金では、成果を具体的に測ることができ、[持続可能](#)で大規模なプロジェクトを行うことによって、ロータリアンが世界に大きな影響をもたらすことができる。
- 2012年7月以降に[補助金管理セミナー](#)を実施し、クラブがグローバル補助金を申請するための参加資格を得られるようにする。
- 2013年1月から2013年9月までの間に、オンラインで地区の[参加資格認定](#)手続きを行い、新しい補助金を申請できるようにする。
- 地区は、どのような種類の補助金であっても、未完了の補助金プロジェクトを一度に10件以上実施することができない。補助金活動が終了し次第、速やかに報告を行い、完了させる。
- 代表提唱者は、新地区補助金とグローバル補助金の承認を受ける前に、人道的補助金プログラムの補助金の報告を期限どおりに行っていないといけない。
- 未完了の地区補助金が一か所あっても、その補助金の報告書が提出済みである(ただし必要なすべての情報を正確に報告していること)場合は、新地区補助金の支払いを受けることができる。また、地区が提唱したマッチング・グラントについても滞りなく報告を行っていないといけない。
- 新地区補助金とグローバル補助金の年間スケジュールは、財団の従来のプログラムと異なるため、あらかじめ計画をしておく必要がある。例えば、地区は2013-14年度の奨学生を2012年1月に選出する必要はない。
- 国際親善奨学金、研究グループ交換、人道的補助金プログラムにおける地区のこれまでの功績を祝い、プログラムの参加者を称えとともに、これからも引き続きロータリー財団で貢献を果たしてもらうよう奨励する。
- クラブへのDDF使用報告として地区が現在の採用している方法を見直すとともに、財団補助金のために配分するDDFの報告を今後どのように行っていくかを検討する。

留意点: 未来の夢計画は現在も試験段階にあるため、2013年7月1日以前に指針に変更が加えられる可能性があります。